

北上市総合計画 2021～2030 令和4年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和3年度）

基本方針	8.環境にやさしい、安全・安心な暮らしの形成
基本施策	8-1.防災・減災対策と安全対策の強化
関連するプロジェクト	8.私から始める減災プロジェクト

安全な住環境を形成するため、日頃から市民・地域・行政の連携強化を図り、交通安全・防犯意識、地域防災力・防災意識を高めることにより、事故や事件を未然に防ぐとともに、災害時の被害を抑える安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	B
------	----------

R4事後	17
------	-----------

No.	担当部署	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R3) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R4に着手予定・着手済み ◆:R5以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	まちづくり部	交通安全対策の推進	あらゆる世代を対象とした交通安全教育を実施するとともに、運転に不安のある高齢ドライバーの運転免許返納の自主返納を促進するなど、高齢者の事故防止対策を図る。また、信号機など交通安全施設の設置・改善について、積極的な取組を進めていく。	①	昨年に比して交通事故(人身)発生件数が32件減少し、順調に減少傾向が続いている。	A	・幼児を対象とした交通安全教室を実施した。 ・薄暮時間帯の交通事故防止のためライト早め点灯広報活動を市内各地で実施した。 ・交通事故防止等のため、運転免許証を自主返納した高齢者に対して公共交通機関で利用できるサポート券を交付する事業を行った。 ・急発進防止装置の購入補助事業を実施した。	地域の交通安全団体による啓発活動によって、地区住民の交通安全意識が高まった。 高齢者の免許返納の意識が高まっている。	◇交通安全教室の実施 ◆高齢者の交通事故防止に向けた取組
2	まちづくり部	防犯対策の推進	地域や関係団体と連携・協力して見守り活動等を実施し、犯罪の起こりにくい環境を整えるとともに、特殊詐欺の手法や犯罪の被害状況、被害防止対策等を周知し、防犯意識の高揚を図る。また、暴力団追放の気運を高めるため、イベントや広報活動を推進する。	②	刑法犯認知件数は、順調に減少しており、期待値に達した。 ①特殊詐欺被害発生件数は、昨年に比して減少した。(6件→5件) ②暴力団追放について、広報活動を実施した。	A	防犯隊による定期的な巡回や少年センター少年輔導員による年間計画に沿った輔導活動が実施された。 ・北上市防犯協会が、市内高齢者世帯4,030戸において特殊詐欺被害防止訪問活動を実施した。 ・広報紙「暴追いわて」を交流センター及び市民会議(暴力団追放部会)への配布を実施した。	◇特殊詐欺防止高齢者訪問事業の実施 ◇北上市安全・安心まちづくり大会の開催	
3	福祉部	災害時における避難支援体制の整備	個別避難支援計画を活用するなど地域の自主防災組織や民生委員等が連携を図り、避難支援体制を整える。 福祉避難所については、地域に備りがないよう介護保険施設等との協定締結をさらに進める。	③	個別支援計画の更新は3年に1度としており今年度は動きが少なく、地域支援者の設定率も低下したが来年度に向けての準備を進めている。 福祉避難所について、立花地区の介護事業所と協定を締結するなど、4カ所増設した。	C	避難行動要支援者同意者名簿への登録確認は毎年行っているが、個別プランの更新は3年に1度のため、更新時期ではない年は地域支援者を設定させる取組が少なくなるため設定率が低下したのではないかと考える。 地域支援者を設定するためには、要支援者本人と地域支援者になる方との直接のやり取りが必要となるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で近隣住民との交流が減り地域支援者を依頼する機会が少なくなったため設定率が低下しているのではないかと考える。	◇個別プランの更新を予定しているため、その際に地域支援者について周知を行い、要支援者本人や避難支援関係者等に理解を深めてもらう。 ◇新設及び既存で未協定の介護事業所に対して、福祉避難所への協力依頼及び福祉避難所再生可能エネルギー補助金を周知し、協定締結を促進する。未設置の地区(相去、鬼柳、更木、黒岩)の介護事業所等に協定締結への依頼を行う。	
4	企画部	防災力の強化	防災訓練を実施し、その経験を共有しながら、市民や地域、事業者等が互いに連携・協力して災害に対する備えや災害発生時に災害活動が行える体制を構築するとともに、独自の自主防災マスター制度により各地域の自主防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を図る。 近年の激甚化する災害対応のため、防災計画、備蓄計画等の見直しを進め、避難者の受入体制強化を図る。	④⑥	(R3調査未実施) ・自主防災組織研修会を2年ぶりに開催し、82組織92名がマイ・タイムライン作成講座を受講した。 ・自主防災マスター講習は2年ぶりに開催し、47名を新たに認定したほか、認定期間満了のH30年度認定者対象の再認定講習会を開催し、受講者22名の更新を行った。	B	・R3年度はマイ・タイムラインの作成普及に取り組み、訓練の代替として組織内役割分担の確認・点検作業として活用した。また、マイ・タイムライン作成にはハザードマップを使用するため、出前講座等においては、最寄りの避難所、避難経路の事前確認に係る啓発活動も合わせて取り組むことができた。 ・法改正に伴う「新しい避難情報」について周知し、合わせて、防災関連の情報を継続的に発信し、市民に防災意識を持ってもらうよう取り組んだ。	◆◆北上市総合防災訓練の実施 ◆◆自主防災組織研修会の開催 ◆◆自主防災マスター認定者向け講習及び新規認定講習 ◆◆地域防災計画の修正 ◆◆ハザードマップの見直し	
5	企画部	消防団の強化	消防団員向けの各種支援策や地域の協力を得ながら地域防災の活動主体となる消防団員数の維持を図るとともに、消防演習や災害防衛訓練等の訓練により災害対応力の向上を図る。	⑤	前年度に比べて消防団員の確保率は減少し、期待値を下回っている。 ・春季災害防衛訓練等の実施により、消防団の災害対応力の向上を図った。 ・消防団車両運転のため、準中型免許取得やAT限定解除に係る費用を補助した。 ・北上市消防団協力事業所として支援・協力いただいた13事業所に対して感謝状を贈呈した。	B	・消防団員の処遇改善に係る国からの通知を受けて、年額報酬と出勤報酬の見直しを行った。 ・消防団員の確保に向けて、周知(ポスター掲示等)や団員へ協力を依頼した。 新型コロナウイルス感染症対策を講じて、消防団員に向けた訓練等を実施した。	◇消防団員の処遇改善策の検討 ◇訓練等を定期的に実施し、災害対応力を強化 ◇消防団員の確保策の検討	
6	企画部	消防力の維持・強化	計画的な消防車両の更新、建物の維持管理により、消防・救急体制の維持・強化を図るとともに、救急救命講習等を普及させることにより救急車が到着するまでの間の応急手当能力の向上を図る。 また、消防団車両、消防団所の計画的な更新を行うとともに、消防水利の維持管理に取り組み消防力の維持を図る。	⑤⑦	・前年度に比べて救急救命講習の受講者数は増加したが、期待値を下回った。 ・前年度に比べて消防団員の確保率は減少したが、期待値を下回った。 関係部署と調整し、消防団所及び消防水利の計画的な施設整備を図った。	B	救急救命講習の受講者数は前年度に比べて増加した。 消防団車両、消防団所を対象とした講習は新型コロナウイルスにより実施できなかった。	◇消防団車両、消防団所の計画的な更新 ◇消防水利の維持管理	

凡例 →実績値 ←期待値

指標	指標の説明	実績値							期待値
指標	指標の説明	実績値							期待値
①	交通事故(人身)発生件数 各年1～12月における交通事故(人身事故に限る)の発生件数								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
まちづくり部	件	実績値 228	162	130					
		期待値 ※R7は目標値 228	209	190	171	151	132	113	
		備考							
②	刑法犯認知件数 各年1～12月における刑法犯認知件数								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
まちづくり部	件	実績値 259	241	207					
		期待値 ※R7は目標値 259	247	235	223	211	199	187	
		備考							
③	避難行動要支援者同意者のうち地域支援者が決まっている人の割合 年度末の避難行動要支援者同意者のうち地域支援者(協力者)が決まっている人の割合								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
福祉部	%	実績値 58.7	56.2	53.9					
		期待値 ※R7は目標値 58.7	60.3	61.8	63.4	64.9	66.5	68	
		備考							
④	自主防災組織の防災訓練実施率 防災訓練や防災学習(ハザードマップの見方)等を実施している自主防災組織数/全自主防災組織数								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
企画部	%	実績値 60.2	61.8						
		期待値 ※R7は目標値 60.2	61.8	63.5	65.1	66.7	68.4	70	
		備考		未実施					
⑤	消防団員の確保率(団員数/条例定数)の割合 条例定数に対する在籍消防団員数の割合								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
企画部	%	実績値 83.2	83.09	80.634					
		期待値 ※R7は目標値 83.2	83.667	84.133	84.6	85.067	85.533	86	
		備考							
⑥	災害時の避難経路を知っている割合(市民意識調査) 市民意識調査で知っていると回答した人数/市民意識調査の回答者数								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
企画部	%	実績値 46.0	50						
		期待値 ※R7は目標値 46.0	51.7	57.3	63.0	68.7	74.3	80.0	
		備考		未実施					
⑦	救急救命講習受講者数 消防組合が開催する救急救命講習の受講者数								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
企画部	人	実績値 4,358	2,521	2,786					
		期待値 ※R7は目標値 4,358	4,382	4,405	4,429	4,453	4,476	4,500	
		備考							
⑧									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
⑨									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
⑩									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
⑪									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
⑫									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
⑬									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
⑭									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
⑮									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							